

初級日本語作文における自己訂正 ーコンコーダンスプログラム使用の試みー

パデュー大学 院生 伊東克洋

第二言語ライティングにおける教師からの非直接的フィードバック（以下 FB）に関する研究はこれまで様々なものが行われてきた。特に非直接的 FB は学習者に “guided learning and problem-solving” (Lalande, 1982) の機会を与え、“independent self-editors” (Bates et al., 1993) のスキルを育むことができると言われている。しかし、十分な言語知識やストラテジーを持っていない初級学習者においては非直接的 FB では自己訂正が難しいということも同時に指摘されている。そのため、初級クラスにおける非直接的 FB を使った作文の自己訂正に関しては何らかのサポートが必要であると言える。本発表は自己訂正のサポートとして初級日本語クラスにおけるコンコーダンスプログラム使用の試みを報告するものである。コンコーダンスプログラムを使った言語学習はすでにいくつかの研究でその効果が報告されている。しかしながら、学習言語を使ってプログラムに直接アクセスし、そのコーパスを分析するには、それに対応した言語運用能力が要求されるため、初級学習者におけるプログラムの使用に関する研究はあまり行われていない。本研究では、学習者にプログラムの使用感などを報告してもらうことで、初級レベルでのプログラム使用に対する可能性を模索し、今後の課題にしていきたいと考えている。